

第1 平成25年度上半期の財政状況

I 補正予算のポイントは何ですか。～予算編成のポイント～

9月補正予算では、公共投資による地域経済の下支えや、県民生活の安全・安全の確保をさらに強化するほか、戦略的誘客対策の推進に加え、交通ネットワークを活用した交流の促進、県内産業の新たな成長に向けた取り組みなど、当初予算編成以降の情勢の変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策について予算編成を行いました。

II どのような事業が盛り込まれているのですか。～補正予算の重点施策～

<9月補正予算>

1 戰略的誘客対策の推進

- ・マスコットキャラクターの活用による新幹線開業PRの推進
- ・白山眺望の魅力発信
木場潟公園展望休憩施設の整備
- ・訪日ビザ免除等を契機とする東南アジア諸国からの誘客強化

2 交通ネットワークを活用した交流の促進

- ・金沢港の利用促進
クルーズ船受入体制の充実、東南アジアトライアル輸送
- ・のと鉄道に対する沿線市町と連携した支援
観光客用車両の導入、安全運行対策のための基金の造成
- ・小松空港の利用促進
- ・広域交流ネットワーク道路の整備促進

3 県内産業の新たな成長に向けた布石

- ・産業の成長を促進する人材の確保・育成事業の整備
- ・北陸三県が連携したライフサイエンス研究事業の推進

4 県民生活の安全・安心の確保

- ・志賀オフサイトセンターの移転整備
- ・頻発する集中豪雨に対する治水対策の強化
- ・豪雨災害からの早期の復旧
- ・緊急輸送道路の防災対策の促進
橋りょうの耐震補強、道路落石対策
- ・大規模災害や消防防災ヘリを活用した救急搬送に備えた医療資機材の充実
- ・医療施設、福祉施設の整備等の支援

5 時代を先取りするいしかわの新たな取り組み

- ・トキ公開展示に向けた計画の策定準備
- ・文化振興条例（仮称）の制定に向けた県民意識調査
- ・製造業との連携による農業の収益力向上
- ・世界農業遺産認定地域の連携による魅力発信
- ・海女文化の継承・振興に向けた調査
- ・SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク（仮称）の構築

6 未来を拓く心豊かな人づくり

- ・理科教育の充実
　発展的な理科実験のための設備の整備など
- ・体罰によらない指導力の養成



石川県の北陸新幹線金沢開業 PR マスコットキャラクター

「ひやくまんさん」

III 予算額はいくらですか。～一般会計補正予算と現計予算の状況～

歳出性質別予算

△印減(単位:千円、%)

区分	9月補正予算額	平成25年度9月 現計予算額 A	平成24年度9月 現計予算額 B	増減率 <u>(A-B)</u> B
1 職員費	-	140,437,569	144,062,041	△ 2.5
2 投資的経費	12,164,877	95,478,814	99,698,616	△ 4.2
一般公共事業	5,523,272	45,880,939	49,509,713	△ 7.3
国庫補助建設事業	579,047	2,426,129	2,844,082	△ 14.7
一般単独事業	3,569,755	32,840,678	33,822,288	△ 2.9
災害復旧事業	1,772,936	5,272,364	3,654,460	44.3
国直轄事業費負担金	719,867	7,800,135	9,411,104	△ 17.1
受託事業	-	1,258,569	456,969	175.4
3 土木施設維持補修費	-	1,812,217	1,516,956	19.5
4 一般行政経費	17,483,011	198,599,611	198,429,237	0.1
国庫補助のあるもの	2,631,467	58,195,918	54,029,385	7.7
国庫補助のないもの	14,851,544	140,403,693	144,399,852	△ 2.8
5 公債費	-	92,392,677	91,631,059	0.8
合計	29,647,888	528,720,888	535,337,909	△ 1.2

- 上半期補正予算は、総額 296 億円となり、当初予算と合わせた予算規模は 5,287 億円、平成 24 年度 9 月現計予算に比べ 1.2% 減となっています。
- 平成 24 年第 1 次 3 月補正を含む実質当初予算と合わせた投資的経費は、1,360 億円となり、平成 24 年度 9 月現計予算に比べ 36.4% 増となっています。

ひとつめモ

投資的経費

道路、学校、公営住宅の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費で、普通建設事業費及び災害復旧事業費からなっています。普通建設事業のうち、国の補助金・負担金を受けて行う事業が「一般公共事業」、国からの補助金を受けることなく独自に実施する事業が「一般単独事業」です。

一般行政経費

すべての行政事務に要する経費から、人件費、投資的経費、維持補修費、公債費を除いたものですが、一般的には、投資的経費がハード整備に要する経費であるのに対し、一般行政経費は産業振興、少子・高齢化対策、観光振興、環境対策などのソフト事業に要する経費ということがあります。

歳出目的別予算

△印減(単位:千円、%)

区分	9月補正予算額	平成25年度9月 現計予算額 A	平成24年度9月 現計予算額 B	増減率 (A-B) B
1 議会費	-	1,156,423	1,176,452	△ 1.7
2 総務費	278,392	51,343,840	50,986,676	0.7
3 企画県民文化費	426,000	17,181,497	41,027,279	△ 58.1
4 健康福祉費	4,049,556	81,304,889	82,088,351	△ 1.0
5 環境費	547,783	3,762,434	3,354,961	12.1
6 商工労働費	179,240	29,215,117	30,886,676	△ 5.4
7 観光費	34,648	12,401,018	2,114,512	486.5
8 農林水産業費	925,444	25,957,922	25,409,198	2.2
9 土木費	20,912,590	76,741,170	70,676,708	8.6
10 警察費	27,803	24,725,095	24,397,040	1.3
11 教育費	463,496	103,626,132	104,332,430	△ 0.7
12 災害復旧費	1,802,936	5,593,299	3,933,276	42.2
13 公債費	-	95,512,052	94,754,350	0.8
14 予備費	-	200,000	200,000	0.0
合計	29,647,888	528,720,888	535,337,909	△ 1.2

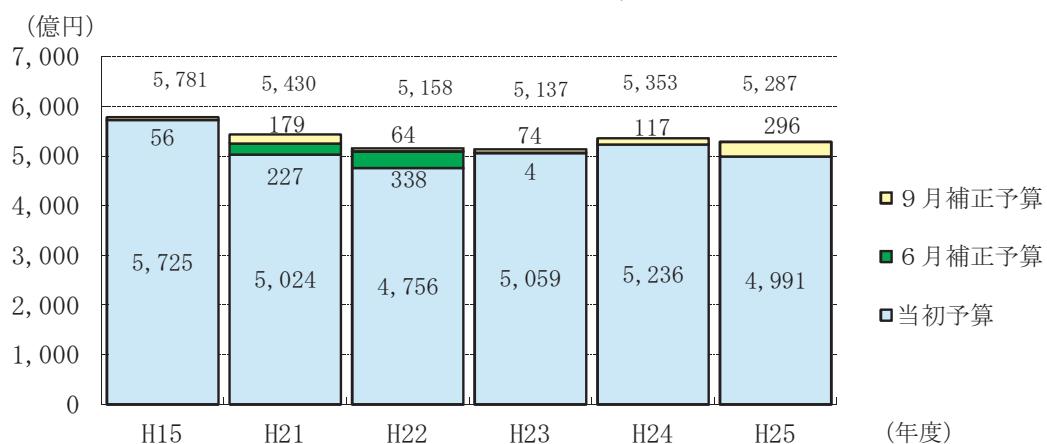
(注) 平成24年度9月現計予算の「商工労働費」と「観光費」は、「商工観光労働費」を振り分けたものです。

ひとつくちメモ

公債費

地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいい、人件費、社会保障関係経費（介護保険などの高齢者対策、子育て支援、障害者施策、国民健康保険関連経費など）とともに義務的経費ですが、人件費や社会保障関係経費と違い、過去の債務の支払いに要する経費です。

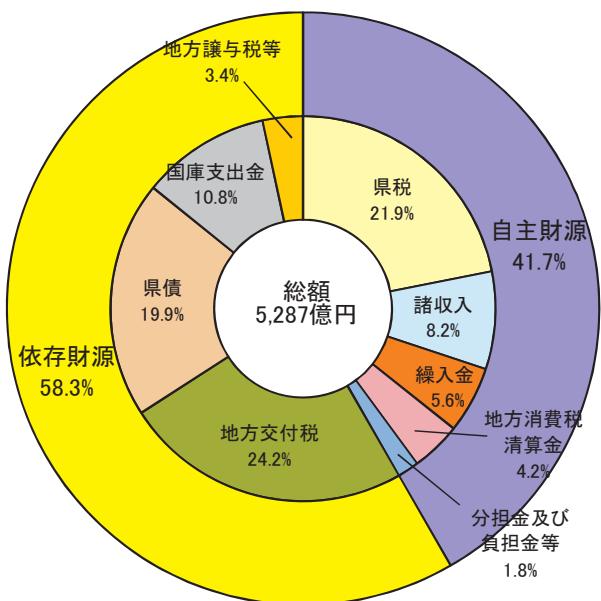
＜一般会計 9月現計予算の推移＞



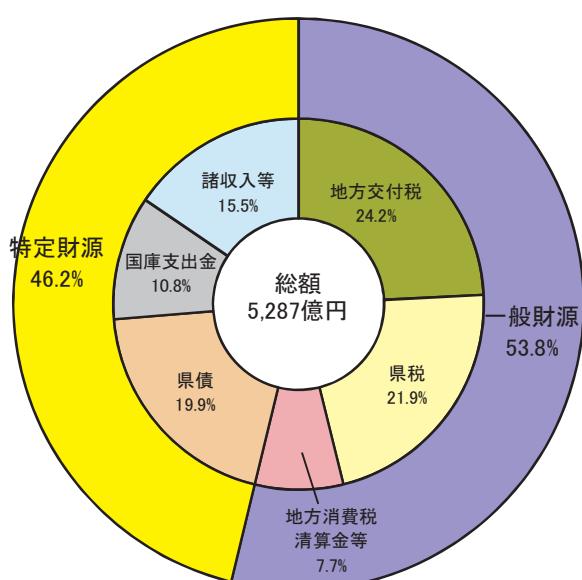
(注) 1 平成15年度は借換債を除いたものです。

2 平成22年度の6月補正予算には県水送水管耐震化事業費（30億円）が含まれています。

＜歳入 自主財源・依存財源別(現計予算)＞

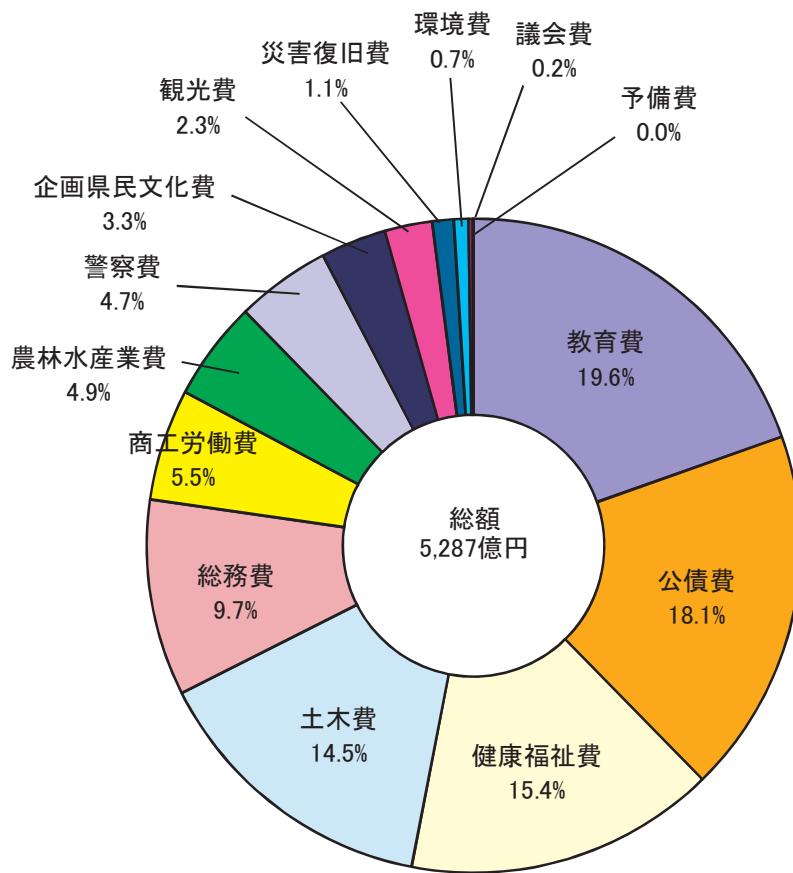


＜歳入 一般財源・特定財源別(現計予算)＞



(注) 端数処理のため内訳が合計に一致しない場合があります。

<歳出 目的別(款別)内訳(現計予算)>



<歳出 性質別内訳(現計予算)>

